

使用教科書		情報処理(東京法令出版)	
使用教材		全商情報処理検定模擬試験問題集(実教出版)	
指導内容 【年間授業計画】	科目情報処理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
4月	ハードウェア・ソフトウェアに関する知識	・ハードウェア・ソフトウェアに関する機器の名称・用語を覚える。 ・画像容量の計算方法を理解できる。 ・2進数の加算・減算・乗算の計算ができる。	問題集・プリント 5
	通信ネットワークに関する知識	・通信ネットワークに関する機器の名称・用語を覚える。	問題集・プリント 2
	情報モラルとセキュリティに関する知識	・情報モラル・セキュリティに関する用語を覚える。	問題集・プリント 2
5月	データベースソフトウェアの活用	・リレーショナル型データベースの用語・仕組みについて理解する。 ・SQLのSELECT文について理解する。自身で作成することができる。	問題集・プリント 4
	問題演習	既に学習した内容の理解を深めるために、問題を多く解く。	問題集・プリント 6
	定期考査	中間考査(筆記)	定期考査 1
6月	文字列操作の関数	・LEFT・MID・RIGHT・VALUE・FIXED・LEN・LENB関数の使用方法を教える。 ・関数の意味を正しく理解している。 ・特にVALUE関数やFIXED関数などコンピュータがどのように判別しているか理解している。	問題集・提供データ 3
	日付・時刻・曜日の関数	・NOW・TODAY・YEAR・MONTH・DAY・WEEKDAY・TEXT・DATE・TIME関数の使用方法を教える。 ・シリアル値がなにか理解している。 ・表示形式の変更方法を理解している。	問題集・提供データ 3
	その他の関数	・SMALL・LARGE・MOD関数の使用方法を教える。 ・MOD関数の意味を正しく理解している。 ・MOD関数の応用として、INT関数との入れ子で正しく使用できる。	問題集・提供データ 2
	グループ集計	・グループ集計の方法を教える。 ・グループ集計の機能を正しく理解している。	問題集・提供データ 2
7月	ピボットテーブル	・ピボットテーブルの使用方法を理解している。 ・グループ集計とピボットテーブルの使い分けが正しくできる。 ・ピボットテーブルを正しく作成できる。	問題集・提供データ 4
9月	検定対策	・問題集の筆記・実技ともに正しく解け、合格点を超えることができる。	問題集・提供データ 2
	検定対策	・問題集の筆記・実技ともに正しく解け、合格点を超えることができる。	問題集・提供データ 2
	検定対策	・問題集の筆記・実技ともに正しく解け、合格点を超えることができる。	問題集・提供データ 2
	検定対策	・問題集の筆記・実技ともに正しく解け、合格点を超えることができる。	問題集・提供データ 2
	検定対策	・問題集の筆記・実技ともに正しく解け、合格点を超えることができる。	問題集・提供データ 2
勉強の仕方のポイント		・EXCELの様々な機能や関数、用語などを正確に覚えること。 ・授業の進み方が早いので集中して授業に取り組むこと。 ・授業以外でも予習復習を十分に行い、定期考査において高得点を取れるよう努力すること。	

使用教科書		情報処理(東京法令出版)	
使用教材		全商情報処理検定模擬試験問題集(実教出版)	
指導内容 【年間授業計画】	科目情報処理の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数
10月	ハードウェア・ソフトウェアに関する知識	・コンピュータの構成、システムの開発と運用、性能。障害管理について正しく理解できる。	問題集・提供データ 2
	ハードウェア・ソフトウェアに関する知識	・記憶容量に関する計算ができる。	問題集・提供データ 3
	通信ネットワークに関する知識	・ネットワークの構成や活用について正しく理解できる。	問題集・提供データ 3
	情報モラルとセキュリティに関する知識	・正しい情報モラルの知識を身につけ、セキュリティ方法についても理解できる。	問題集・提供データ 3
	関連知識	・問題解決の手法について理解し正しく活用することができる。	問題集・提供データ 3
11月	表計算ソフトウェアの活用に関する知識	・最適解、手続きの自動化の機能を活用することができる。 ・関数の利用に関し、正しく使用することができる。	問題集・提供データ 10
12月	データベースソフトウェアに関する知識	・データベースの設計、SQLについて正しく理解することができる。	問題集・提供データ 7
1月	検定対策	・問題集の筆記・実技ともに正しく解け、合格点を超えることができる。	問題集・提供データ 10
2月	マクロの基礎	マクロ機能を使用し定型処理を自動化することで、仕事の効率化や省力化を図ることができることを理解する。	作成データ 8
3月	マクロの基礎	マクロ機能を使用し定型処理を自動化することで、仕事の効率化や省力化を図ることができることを理解する。	作成データ 5